

各 位

会社名 株式会社 イ ト ク ロ
 代表者名 代表取締役 山木 学
 代表取締役 領下 崇
 (コード番号：6049 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員経営管理部長 佐藤 大輔
 (TEL. 03-6230-1138)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年6月7日付の取締役会決議において、以下のとおり、2018年12月7日の2018年10月期決算発表時に開示した2019年10月期(2018年11月1日～2019年10月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年10月期通期業績予想数値の修正(2018年11月1日～2019年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,650	2,350	2,350	1,516	73.08
今回修正予想(B)	4,350	1,400	1,410	900	43.37
増減額(B-A)	△300	△950	△940	△616	—
増減率(%)	△6.5	△40.4	△40.0	△40.7	—
(参考)前期実績 (2018年10月期)	4,491	2,000	2,005	1,085	52.56

2. 修正の理由

当初の計画では、塾ナビのリスティング広告の運用を強化することで、業績拡大を見込んでおりましたが、Googleの広告枠に対するテクノロジー変更等に伴いリスティング広告の費用が高騰したことが影響し、利益重視型スタイルへの軌道修正をすることにしました。

また、学校教育領域及びその他民間教育領域におけるメディアサービスの成長速度を高めるため、事業成長に向けた投資を実施することもあり、2019年10月期の通期業績予想を修正いたします。

まず、塾ナビにつきましては、リスティング広告の運用を強化することで、売上高の増加を見込んでおりましたが、Googleの仕様変更に伴い、リスティング広告のクリック単価が高騰し、十分なユーザーの獲得には至らなかったこと等により、売上高及び営業利益が前回予想を下回る見込みです。上記の影響により、営業利益は期初の計画より550百万円下回る見込みです。

また、2024年10月期に向けた中期成長戦略として、学校メディアでのテストマーケティングの実施費用やロコミ等のコンテンツの質と量の向上を目的とした費用、学校メディア・その他民間教育メディアの成長に向けた企画人員及び開発人員の採用強化に伴う費用等として、400百万円の事業成長に向けた投資を実施します。

つきましては、営業利益は前回予想より合計950百万円下回る見込みであり、それに伴い、経常利益及び当期純利益についても、それぞれ前回予想を下回る見込みです。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上